

『カクキューの八丁味噌を愛した著名人』
～ 林 傳蔵 ～

料理旅館「藤傳（ふじでん）」の店主。

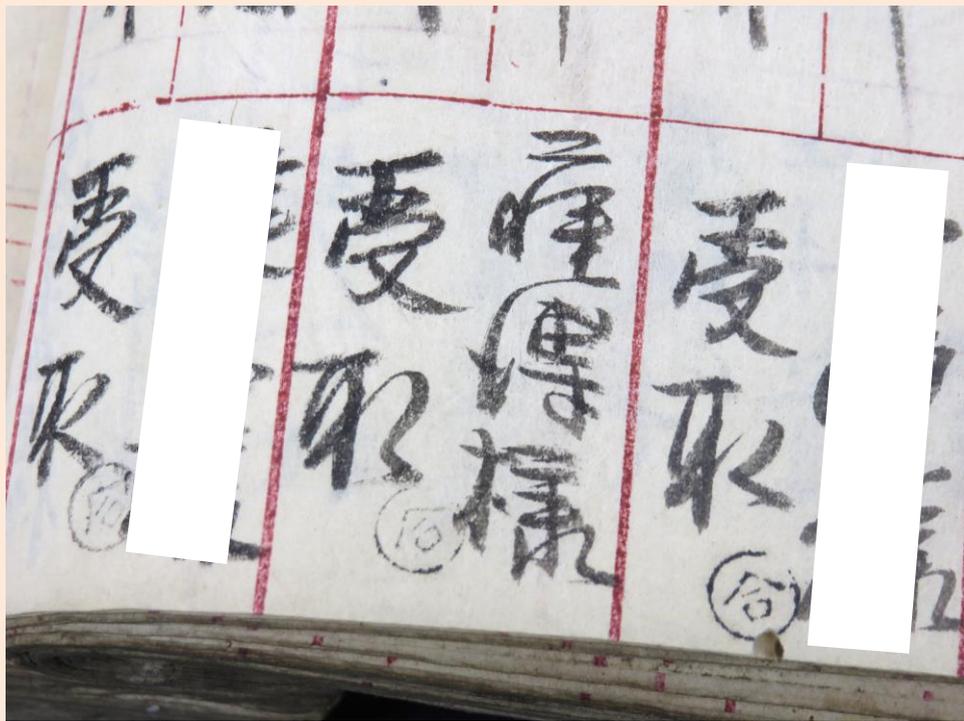
「藤傳」は嘉永年間に林家 13 代目が独立し、岡崎市の矢作橋畔に料理業を開業しました。名物八丁味噌を看板に「むきみ汁」が人気を得てその後も大繁盛しました。しかし、矢作川河川改修工事の為に立退きの運命に会い、大正の終わり頃に店を閉じました。

当社では、1923 年（大正 12 年）度の大豆購入量が五千石を越えたのを記念し、1924 年（大正 13 年）6 月 8 日に、従業員や関係者らで岡崎市八帖町の諏訪神社にて祝賀会「五千石祝い」を行いました。また、取引先の人達を「藤傳」に連日招待しました。

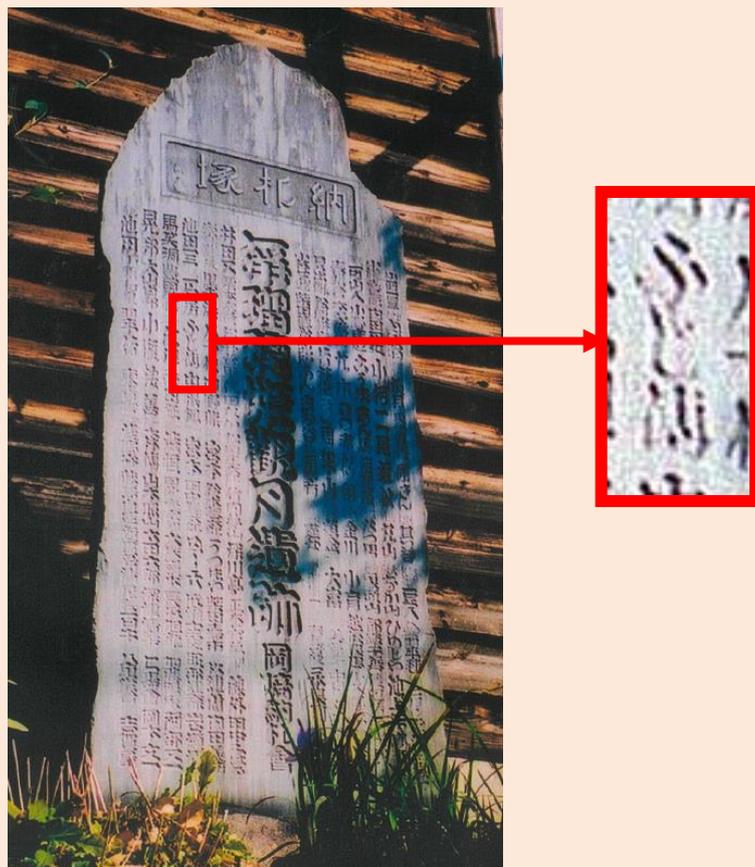
1888 年（明治 21 年）発行の「参陽商工便覧」に「藤傳」が紹介されています。また、岡崎市十王町の西本願寺三河別院に 1931 年（昭和 6 年）に岡崎納札会が建立した「浄瑠璃姫観月遺跡」があり、賛同した「ふじ傳」の名前も刻まれています。

当社史料室には、林傳蔵から 17 代早川久右エ門宛の年賀状や、注文の記録が多数残されています。また、カクキューの八丁味噌づくしの「新年懐石料理献立」のお品書きが残されています。





藤傳からの注文記録(明治 29 年の大福帳より)



浄瑠璃姫観月遺跡

<参考文献>

- 「みどりや主人の昭和史 24」(東海愛知新聞) 嶋村博氏著 2021年(令和3年)
- 「山越え谷越え 350年」合資会社八丁味噌 史料室 2000年(平成12年)